

【 診療科:消化器内科 】
【 レジメン登録番号:IA-36 】

〈 FOLFIRINOX療法 〉

投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
		1
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○
レボホリナート	200mg/m ²	div	○
トポテシン	180mg/m ²	div	○
フルオロウラシル	400mg/m ²	div(10分以内で)	○
フルオロウラシル	2400mg/m ²	div (or ci)	○

【1コース期間: 14 日】

【総コース数: 標準なし】

【適応癌種: 膵臓癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<第1日目>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	イメントカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 9.9mg	
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.3	オキサリプラチン 85mg/m ²	div(120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4-①	レボホリナート 200mg/m ²	div(120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4-②	トポテシン 180mg/m ²	側管 div(90分で) ^{※1}
	生理食塩水 250mL	
Rp.5	フルオロウラシル 400mg/m ²	div(10分以内で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.6 ^{※2}	フルオロウラシル 2400mg/m ²	div(46時間で) (or ci 2.5mL/h, 46時間で)
	生理食塩水 500mL ^{※3}	

<第2, 3 日目>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	イメントカプセル 80mg	p.o.
Rp.2	デカドロン 4mg	p.o.

【参考文献:N Engl J Med 2011;364:1817-25. FOLFIRINOX療法適正使用情報(日本胰臓学会監修)】

【備考:※1…トポテシンはレボホリナート投与開始30分後から投与開始】

【備考:※2…Rp.6はインフューザーポンプを使用する場合、バクスターSV2.5を使用。】

【備考:※3…インフューザーポンプを使用する場合、生食希釈量はキャビネットに保存されている】

『バクスターインフューザー SV2.5 5-FU投与量別希釈量(m)FOLFOX6用』を参照。】

【変法情報:】